

舵取り繁盛記

協会の奥様登場

平村 文子 (ふみこ) さん

●尾張南支部 株式会社テクア

取締役社長 平村成一氏夫人



「大変なことはみんな社長がしてくれるので、私の仕事はお留守番程度なんですよ。」と謙遜なさりながらも、株式会社テクアの実業取締役副社長として、ご主人をサポートしている文子夫人。笑顔がチャーミングな文子夫人に、趣味の話やご主人について語っていただきました。

【乗馬に挑戦しています。】

特別に習っている趣味はありませんが、旅行や美術鑑賞は好きですね。あと、少しかじり始めたのが乗馬。去年、南知多の上野間に南知多乗馬クラブがオープンしたので、お友達に誘われて一緒に始めました。子どもの頃にテニスをしていたことを除けば、アウトドアとして特別なことをしたことがないので、乗馬は私としては思い切った挑戦ですが、始めてみたら爽快。初めて馬に乗った時は、目線が高く回りに見える風景もいつもと違いますし、空間に浮いている感じで怖かったんですが、今は乗っている馬とのコミュニケーション

もとれるようになって、とても楽しくなりました。1回40分程度の乗馬ですが、戸外でのスポーツとして、良い気分転換になっています。

【美術鑑賞と旅行が趣味】

美術鑑賞では日展が大好きで、名古屋に来ると必ず車をとばして見に行きます。すばらしい絵画の前に立つと、心が落ち着きますね。特に好きな絵は、加山又造さんの作品。初めて彼の作品と出会ったのは、箱根の芦ノ湖近くにある個人所蔵の成川美術館でした。ガラス張りになった大きな窓から、湖と富士山が見えるステキなロケーションの美術館ですが、そこで加山さんの“ネコとボタンの花と月”を描いた作品と出会い、そのすばらしさに感動して、以来彼の大ファンになりました。もちろん加山さんの作品が名古屋に来る時は、必ず見に行きます。

旅行は、日帰り旅行から1泊旅行程度で、出来る限り行けるよう、お友達と努力しています。でも去年の10月には、夫婦二人で長い間会社を留守にするわけにはいかないので、友人と二人でヨーロッパに8日間出かけました。イタリアのミラノからスイス、最後はモナコに行くという珍しいコースでしたが、スイスでの山登りも、南フランス独特の明るい雰囲気、海がきれいなモナコも印象的でした。



イタリアにて

舵取り繁盛記



京都・平安神宮にて

【封建的ですが尊敬できる夫です】

3人の子どもも、25歳・22歳・20歳になり、一番下の息子が静岡の大学に入学して、やっと母親業からも解放されたこともあわせて、夫とも1年に1回は二人だけの旅行を楽しんでいます。のんびりと温泉に行くことが多く、今年の3月にも箱根に行く予定です。



家族で韓国旅行

夫は、どちらかといえば封建的なところもありますが、とっても男らしい人。根性があるって尊敬できる人なので、そういうところは子どもにも見習ってほしいと思っています。今の若い人のように、言葉でいう優しさはありませんけれど、思いやりはありますね。夫への要望は、お付き合いでの外食が多く、最近少し太り気味なので、くれぐれも身体に気を付けてほしいということ。あと、もう少し私に時間の余裕をいただけたらうれしいですね。どうしても仕事を中心なので、なかなか定期的に趣味の時間を持つのは難しいのですが、時間が許すようになったらもっと乗馬も続けたいし、以前に習っていて、指導いただいていた先生が亡くなられたことから、それきりになってしまっている墨絵も、再開したいと思っています。



結婚記念日

《ご主人から奥様に一言》

私が3年前に足を複雑骨折して、いろいろと大変でしたが、会社のこと、家族のことと本当に良くやってくれました。自分が病気になってつくづく感じましたが、家内が病気もしないで元気でいてくれることは、本当にありがたいですね。そして、ふだんは口にはできませんが、わがままな自分によくついてきてくれたと、心より感謝しています。忙しく外で仕事ができるのも、事務所を安心して任せておける家内がいてくれるおかげ。本当にありがたいと思っています。